

# 世界の風 from Sweden —スウェーデン—



## 第2回 野外博物館スカンセン



①120年以上前に敷設されたケーブルカー／②トナカイ／③伝統工芸の実演／④投票の練習ができるブースもあります

みなさん、こんにちは！ スウェーデンで教員をしているサリネンです。スウェーデンの学校は8月の半ばが年度始めで、今は秋学期の真ただ中です。私は7～9年生（日本の中学生）の7名の生徒の担任をしていて、3名の生徒アシスタントと共に働いています。

毎年8月の終わりに、複数の障害者団体が協賛して、団体の会員、特別支援学校や障害がある方の日中活動の施設などを、ストックホルムのユールゴードン島にある「野外博物館スカンセン」に招待します。毎年3000人も人が訪れると言われる一大イベントです。新型コロナウイルス禍で2年間行なわれていませんでしたが、今年は私も生徒を連れて行ってきました。多くの障害児者が訪れており、顔見知りも多く、昔の教え子にも会うことができました。ダンスや音楽、サーカスやゲームなどさまざまなアクティビティがあり、生徒たちも大喜びでした。



サリネンれい子

特別支援学校教員  
スウェーデン在住

スカンセンは、1891年に開園されてから、スウェーデンの人々に愛され続けてきました。広大な敷地には、ヘラジカやトナカイなど北欧ならではの動物を見ることができ、動物園、子ども向けの「小さなスカンセン」と呼ばれる動物園、水族館、スウェーデン各地の民家や街並み、伝統工芸の実演も見ることが出来ます。ストックホルムを一望できる小高い丘にあるスカンセンは、車いすやベビーカーは1897年に敷設されたケーブルカーでのぼることが出来ます。子どもから大人まで誰もが楽しめる観光地なので、ストックホルムに来たらぜひ訪れてみてください。